

● 室内の遊び

皆様！追つ付け冬休みと正月のお休みが来ます  
次の様な遊びをするのも面白いでしょう。

(三名あて)

五六人も寄つて、一人は目隠しをして待つて居ます  
すと、其前へ残りの者が、一列に并んで立ちます  
夫を片端から、誰さん〜といつて名を當て、行  
くのです、當られる人は、決して物を言つたり何  
かしてはならない。そして、當て損へば、何時ま  
でも其役になる、言ひ當てれば代りの者が出て、  
目隠しになります。

四) 西班牙の商人

一人が室の外へ出て居ると、残りの者が相談をし  
て、皆が(室の外に行つた人も)誰でも知つて居

る書物の名を一つきめて置く、夫から、外に行つ  
てる者を呼んで来る。すると其者が、

『あなたは何を賣るのですか』

といつて、室内に居つた人に向つて、一人〜に  
聞いて歩く、問はれた人は、其間に對して、何で  
も前にきめて置いた本の中に在ることを取り出し  
て答へる、例へば、一人は『私は猿をうりませ  
う』といへば、又一人は、『私は團子をうりませ  
う』私は鬼をうりませう』など、云ふ。そこで、  
其答へを考へ合はせて、買手は『夫では桃太郎の  
本』といひ當てるのです。當て損へば、何度でも  
外に出される、當てれば、代つて買手になる。

(五) さいちやんと良ちやん

これは、中々容易に教へられない秘傳ですが、仕  
方がない、大負けにして教へましよう。

先づ六七人が、輪の様に圓く座ります。そこで其中の一人先づさいちやんが手拭で目を隠す。すると良ちやんが『さいちやん、いゝですか』と言つて、さいちやんが『ハ、よし』といつたら、そつと誰かの手に觸るのです。そこで、『さあ、よし』といつて、さいちやんの目をわけてやると、さいちやんはすぐ、今良ちやんの觸つた人と言ひ當てますから、さあ他の人は、皆不思議がつて、も一度、も一度とやらせますけれど、何度やつてもさいちやんにあてられます

これは、他の人には知らせてならないので、さいちやんと、良ちやんとが、ちやんと前から相談をしてどんな人に良ちやんが觸るといふのを決めて置いて居るのです。夫は、何でもいゝから、座つて居る人の中で、一番前に物言ふたり笑つたりし

た人を觸るのです。だから、さいちやんは目を隠したら、いろんな事をして、見せると、皆笑ひ出しますから、誰が前だといふことをよく聞いて居ねばなりません、良ちやんは、其人を觸るのですから、

まだありますが、あとは、お正月のお楽しみ

英語一口ばなし

ゆき子

▲『向うに飛んで行くのは燕ですか』

『S—え 燕はわんなにそうろく Swallowと

飛ばなくてよ

▲『あれは 牡鶏でせうか』

『そうねー、チトへん、hen ですよ』

▲『あのね、家の姉さんにね、此猫を聞がりで見